

経営比較分析表（平成30年度決算）

宮城県 亶理町

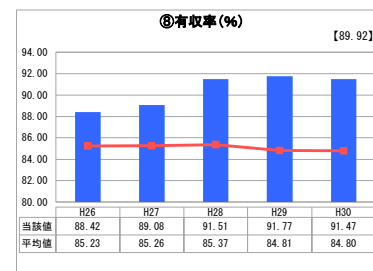
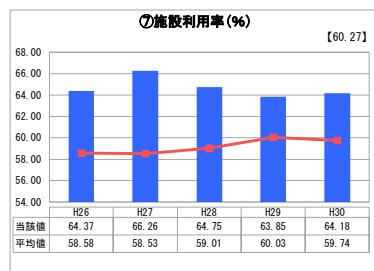
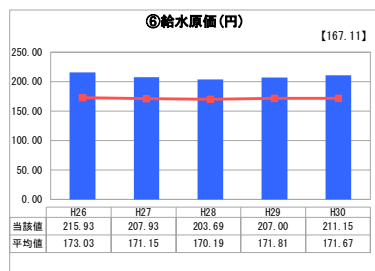
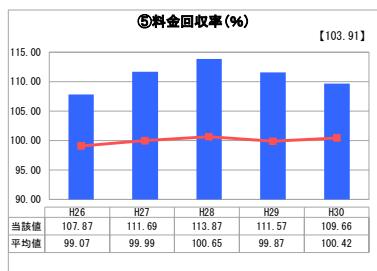
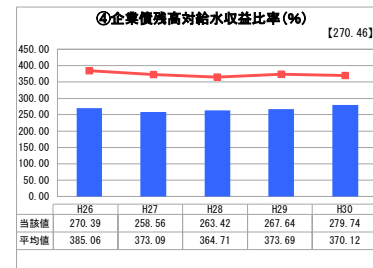
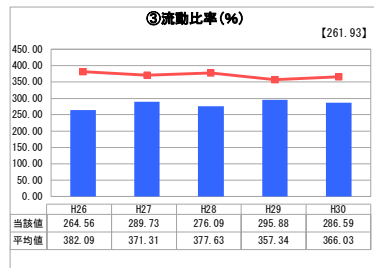
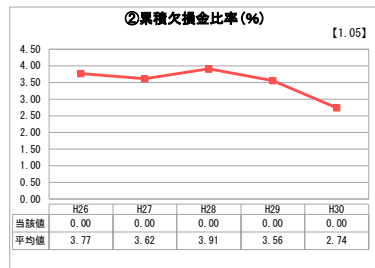
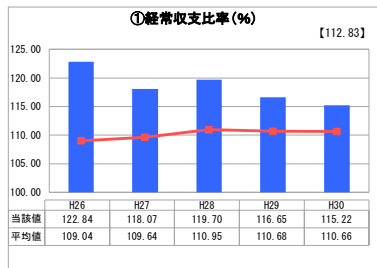
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ² 当たり家庭料金(円)	
-	62.27	98.90	4,374	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,674	73.60	457.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
33,223	73.21	453.80

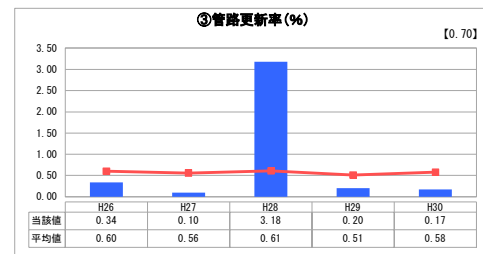
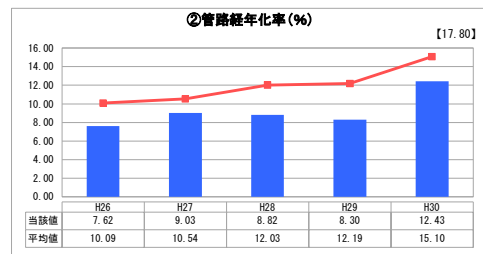
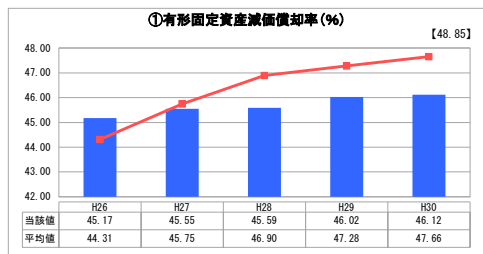
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

全体として、類似団体平均より健全で効率の良い経営であると考えられるが、⑥給水原価については本町水道の9割以上を受水で賄っていること等により、類似団体平均より上回っているため、今後も経費の削減に努める。⑧有収率については類似団体平均値よりも高くなっているが、今後も更なる向上を目指す。

2. 老朽化の状況について

管路更新率が類似団体と比較して低率になっており、施設の老朽化対策として今後も施設の更新を実施する。

全体総括

本町水道事業については類似団体平均値より健全で効率の良い経営である。今後は更なる人口減少や節水型機器の普及等により給水収益の伸びは期待できないので、経費の削減に努め、管路等施設の老朽化対策は必須であるので、経営状態を考慮して施設の更新を実施する。